

奇跡の一枚一句！男女共同参画に関する三行詩&写真 受賞作品一覧・おめでとうございます

男女共同参画社会について、市民に広く関心をもっていただくために、男女共同参画に関する三行詩・写真を募集しました。応募総数 179 点の中から三行詩部門・写真部門、それぞれ最優秀賞1点、優秀賞3点を決定し男女共同参画記念式典で入賞者の表彰を行いました。

【三行詩部門】

- **最優秀賞**
「私にだってやればできる大工仕事でもあなたがいるから
もつと 助かる家事育児」
うるま市在住 前徳 薫
- **優秀賞（小学生の部）**
「苦手なことは
男も女もあるんだよ
みんなで助け合おう」
あげな小学校4年 内間 茉冬
- **優秀賞（中学生の部）**
「力強くて 豪快で だけどあたたかい お母さんにも負けない おやじの味」
あげな中学校3年 久田 玲緒奈
- **優秀賞（高校一般の部）**
「コーヒーを気軽にに入れてくれる男子いて 気兼ねなく仕事ができる女子がいる 共にイキイキ働く職場だからこそ」
うるま市在住 崎山 淳子

【写真部門】

- **最優秀賞**
「おいしい夕飯できそうね」
兼原小学校3年 親泊 まり奈
- **優秀賞（小学生の部）**
「おなかすいたよ」
中原小学校5年 上阪 きらり
- **優秀賞（中学生の部）**
「ファミリーフォーカス」
具志川中学校1年 上阪 主税
- **優秀賞（高校一般の部）**
「男性も積極的に育児参加」
市内在住 長濱 亜由

うるま市女性団体連絡協議会のご紹介

うるま市女性団体連絡協議会は、市内の10団体で構成され女性の地位向上と男女が共に参画し、生かす社会を目指して活動しております。特に次世代の担う子供達や孫のため、加盟団体が一同に集い青少年健全育成のあり方を学ぶ研修、他市町村女性団体との交流や、「映画上映会」「市長と語るつどい」など数多くの事業を展開しております。

【加盟団体】

- ①うるま市女性連合会
- ②うるま市赤十字奉仕団
- ③うるま市農漁村生活研究会
- ④うるま市母子寡婦福祉会
- ⑤うるま市商工会女性部
- ⑥JAおきなわ具志川支店女性部
- ⑦与那城町漁協女性部
- ⑧石川女性海外・国内研修生連絡協議会（虹の会）
- ⑨新日本婦人の会うるま支部
- ⑩うるま市ガールスカウト

平成24年度 うるま市男女共同参画 取り組み

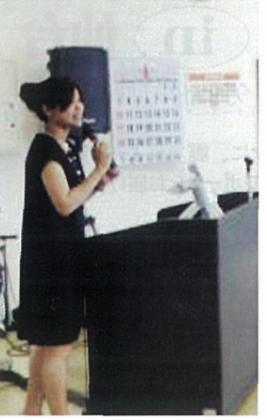
1 男女共同参画啓発講座

うるま市では、男女の違いにとらわれず、それぞれの個性を輝かせながらいきいきと暮らせる社会を目指して、男女ともに知ってためになる講座を開催しました。

●5月18日（金）
「子どもをのびのび育てるためのヒケツ」
講師 糸数 貴子氏



●6月8日（金）
「自分へのこぼりびアロマ講座」
講師 福島 美菜氏



●6月21日（木）
「元気になる笑いの法則」
講師 久高 学氏



2 男女共同参画週間

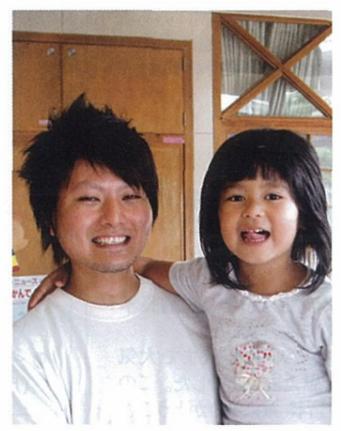
男女共同参画推進本部では、毎年6月23日から29日までの1週間、「男女共同参画週間」を実施しています。うるま市では健康福祉センターうるまにてパネル展を開催しました。
平成24年度テーマ「あなたがいるわたしがいる未来がある」



3 男女共同参画に関する取材

うるま市では、男女が共に生き、創っていく男女共同参画社会の実現を目的とし、毎年共同参画に関する様々な企画、講座を展開しています。

● **絶対にやりがいのある仕事**
保育士 吉本さん
「最初は親に反対されました。でも自分にはこれしかないと思えました。お遊戯会などで園児の成長を実感したときとてもやりがいを感じます。」



● **自分に何ができるか考える**
警察官 大城さん
「市民と話せるのがとても楽しいです。女性警察官はとても重宝され女性にしか出来ない事も多いので、とてもやりがいを感じます。」



● **高齢化社会なので1番の仕事**
看護師 上地、仲宗根、東さん
「女性ばかりでやりにくいという先入観があると思いますが、実際そうではなくとても専門性をもってできる仕事なので楽しいです」



● **必要なのは使命感**
消防士 照喜納さん
「一緒に働けることで信頼感が築けるので女性だからというイメージで活動範囲を狭めないでほしい。」



うるま市男女共同参画国内外研修参加体験記
～参加された皆様の体験レポートです！

日本女性会議 2012 in 仙台



「日本女性会議」は1984年に第1回大会が開催され、今回で29回目を迎えた全国規模の会議です。仙台大会は、「きめる、うごく、東北(ここ)から」をテーマに、震災によって顕在化した問題を提起する会議となりました。参加された方の体験レポートをお届けします。

◆◆◆◆◆参加者報告◆◆◆◆◆

・うるま市女性連合会 **川野 悦子さん**
日本女性会議の開催地仙台に行って参りました。特別プログラムでは、東日本大震災から1年半過ぎた今を5名のパネリストが自らの体験や信念を語ってくれました。このような貴重な研修の場へ参加できたことを生かして、これから私なりに人の役に立てる事をしていきたいと思いました。



・うるま市母子寡婦福祉会 **山城 弥生さん**
東日本大震災によって被災した人たちが厳しい試練を力に変え、復興に向けて前に力強く歩んでいて、被災から復興への道程において、多くの場面に平時からの取り組みが生かされることを痛感しました。様々な場面に女性が参画することについて、法規の導入や男性の態度の変化だけではだめで、女性自身が変わろうとすることが大事だということ学びました。

◆「うるま市男女共同参画国内外研修派遣補助事業」について◆

「うるま市男女共同参画国内外研修派遣補助事業」は男女共同参画について学習し、男女共同参画社会の実現に向けたリーダーの育成と資質の向上を図ることを目的に、参加費の一部(上限4万円)を市が補助し、市内在住者の派遣を行っています。詳細につきましては、企画課・共同参画係(☎973-5005)までお問い合わせください。

「沖縄県女性海外の翼について」

沖縄県の女性を海外に派遣し、「平和で活気に満ち潤いのある沖縄県づくり」に貢献する女性リーダーの育成および資質の向上を図ることを目的とし、今年度の研修国フランス共和国での研修に参加した方のレポートをお届けします。

【参加者報告】

「美しい沖縄にトラムが走るのを夢みて」
山城 美代さん(うるま市石川在)
研修は平成24年10月6日～13日の日程でフランスで行われ、事前研修で講師ヴァイン藤井由美氏のストラスプールのまちづくりの講話で、トラム(新型路面電車に興味を持ち、更に岩崎セツ子氏の「フランス事情あれこれ」でフランスの魅力や学び、翁長孝枝氏の男女共同参画の歴史を学び本研修に臨みました。フランスのトラムの乗り継ぎの高率、環境のよさ90年代まで大気汚染と交通渋滞に悩まされていた都市とは思えませんでした。この研修の機会を与えて下さった関係各位の皆様誠にありがとうございました。

「女性の翼に参加して」
金城 百合子さん(うるま市字具志川在)
2012年8月から9月までの事前研修を修了し、10月6日～6泊8日の日程で29期女性の翼としてフランスのストラスプールに研修員として参加しました。研究テーマは
1. 都市交通政策と観光と環境
2. 男女共同参画に関する事
3. 福祉教育に関する事

など3つで、男女共同政策について福祉および教育政策については公立の保育所や市役所等を訪問し、出生率の向上した理由とジブシーの多い国ならではの保育、教育政策を知りました。都市計画については、トラム(新型路面電車)の導入から20年の都市環境について知り、うるま市にも人間と環境にやさしいがトラムが走る日が来る事を願う。最後の日にはバリ県人会長との懇談を終え、無事全日程を終了し、意義の深い研修となりました。

うるま市男女共同参画宣言都市 記念式典が開催されました

「共に創ろう！一人ひとりの個性が輝くまち」

平成25年1月26日(土)うるま市民芸術劇場で県内4番目の「男女共同参画宣言都市」となる「うるま市男女共同参画宣言都市記念式典」が開催され市内外から約700名の方々が参加しました。式典は高江洲小学校マーチングバンド部のオープニングアトラクションで始まり、内閣府報告、男女共同参画に関する三行詩・写真受賞者の表彰の後、宣言文が披露され、心豊かに自分らしく生きるまちの実現に向けて、誓いを新たに男女共同参画都市を宣言しました。

記念講演では田部井淳子さんによる「共に歩み、共に輝くエプロン外して夢の山」が行われ、エンディングアトラクションでは「現代版組踊肝高の阿麻和利」が披露されました。このほか、会場入り口ではうるま市女性団体連絡協議会主催による市の特産品などを一堂に集めた物産展も開催されました。

宣言文群読 市長・懇話会・生徒

共に助け合い、共に輝く男女共同参画社会の実現を目指して、決意を新たにして取り組んでいくことを誓い合うために、壇上のうるま市男女共同参画懇話会委員の皆さまと市内の中学校

生、市長、そして会場の皆さまと共に力強く「宣言文」を読み上げました。

うるま市男女共同参画宣言

共に創ろう！一人ひとりの個性が輝くまち
太平洋の青い海、山の緑豊かな美しい自然に恵まれた歴史と伝統文化のまち、うるま市。わたしたちは、一人ひとりが互いをかけがえない存在として認めあい、それぞれの個性や人権を尊重し、責任を分かちあい、共に健康で、平和な社会の実現をめざし、ここに「男女共同参画都市」を宣言します。

- 一、わたしたちは、互いに人権を尊重しあい、自立・平等の意識を育み、人にやさしくできる社会をめざします。
- 一、わたしたちは、性別による固定的な役割分担の意識や慣習にとらわれず、みんなが参画できる社会をめざします。
- 一、わたしたちは、家事、育児、介護の責任を共に担い、家庭、職場や地域で支えあう社会をめざします。
- 一、わたしたちは、あらゆる活動や意思決定の場に、男女が平等に参画できる社会をめざします。
- 一、わたしたちは、世界の恒久平和を願い、民族や文化のちがいを理解し、共に生きる社会をめざします。



◆記念講演◆ 田部井淳子氏 「共に歩み、共に輝くエプロン外して夢の山」

「エプロンをはずして夢の山」と題した講演では、富士山やエベレスト、南極大陸など国内外の登山活動を通して山の魅力を語り、また、妻であり母である田部井さんが夢を実現するまでのプロセスをユニークな体験談をまじえながらの語り会場は笑いの渦。さりげなく男女共同参画が盛り込まれた内容となっていて、会場に集まった参加者は感動した様子で講演を聞き入っていました。



記念式典アトラクション

オープニングは、高江洲小学校マーチングバンド部の演奏から華やかに始まり、エンディングでは「現代版組踊肝高の阿麻和利」が披露され、ステージと観客が一体となって大盛況に式典を終えました。



高江洲小学校マーチングバンド



あまわり浪漫の会